会　議　録

会議の名称		令和７年度第１回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会
開催日時		令和７年５月 27 日（火）開会 14:30　閉会 16：00
開催場所		つくば市立二の宮小学校 NINO ラボ
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課
出席者	委員	樋口　直宏、木村　敦至、竹内　崇、伊藤　哲司 鈴木　宏之、萩原　路子、髙野　和直、東郷　和男 宮本　剛、清水　森人、鈴木　朱里、加藤　千里 長久保　翠 谷田部東中学校：校長　井橋　憲一、教頭　浦和　真弓 教務主任　栗本　英理香 二の宮小学校：校長　神林　ふじ子、教頭　宮田　路子 教務主任　片山　大輝 小野川小学校：校長　岡田　浩、教頭　芳賀　千重 教務主任　木村　寛紀 東小学校：校長　岡野　正人、教頭　坂入　敏江 教務主任：河野　隆行
	その他	
	事務局	教育局生涯学習推進課　参事：山口　健次 教育局生涯学習推進課　社会教育主事　村上　和宏 教育局生涯学習推進課　社会教育指導員　福田　綾子 教育局生涯学習推進課　社会教育指導員　入澤　ひろみ
公開・非公開の別		□公開　□非公開　☑一部公開　傍聴者数　１人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第５条第１号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため
議題		熟議「今年度の洞峰学園ＣＳのテーマ、計画について」
会議録署名人		確定年月日　年　月　日
会議次第		１　開会 ２　任命書交付 ３　授業参観 ４　説明事項 ５　協議 (1)学校運営の基本方針について (2)学校の取組について (3)熟議　テーマ「今年度の洞峰学園ＣＳのテーマ、計画について」 (4)その他

	・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 6　閉会

＜審議内容＞

1　開会

二の宮小　宮田教頭：令和７年度第１回洞峰学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を洞峰学園の教務主任片山にお願いします。→承認

2　任命書交付

不備がある場合は事務局へ連絡

3　授業参観

２グループに分かれて３、４、６年生の授業参観

4　説明事項

村上社会教育主事より

- 昨年度の熟議の様子について
- つくば市の教育が目指すもの
- コミュニティ・スクールについて

5　協議

会長、副会長の選出

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の取組について

○　学園グランドデザイン（谷田部東中　井橋校長）

- 学園の教育目標に関する説明
- 学園合同の教育活動の実践紹介
- 第１回学園研修の報告

○　小野川小学校

①　グランドデザイン（岡田校長）

- つくば市の教育大綱に基づいて作成
- 自己存在感を大切にするため、担任には人間関係づくり等に注力。

②　特色ある教育活動（木村教務主任）

- 熟議を重視。
- 縦割りの班活動や学習の際に保護者にボランティアとして入ってもらっている。

○　二の宮小学校

①　グランドデザイン（神林校長）

- 学習における対話を重視した学びの充実について
- 二の宮通信の発行等による学校・保護者・地域との連携について
- 働き方改革のことを含めた学び続ける教職員集団づくりについて

② 特色ある教育活動（片山）
・ 非認知能力の向上に向けた取り組み
・ 給食や清掃、学習支援などで保護者ボランティアを導入。

○ 東小学校
① グランドデザイン（岡野校長）
・ 個別最適な学びと協働的な学びの往還
・ 豊かな心を育む教育活動
・ 昨年度の研究テーマを生かした実践により、たくましく育てる。
② 特色ある教育活動（坂入教頭）
・ 出前授業の積極的な活用
・ 読み聞かせや学習支援といった形での保護者ボランティアの活用

○ 谷田部東中学校
① グランドデザイン（井橋校長）
・ 安心・安全な学校のために、ひとりひとりが安心して過ごせる場所づくりを目指す。
② 特色ある教育活動（栗本教務主任）
・ 対話を重視した学習活動
・ キャリア教育の推進
・ 「谷東ログ」を活用した非認知能力の向上

(3)熟議 テーマ 「今年度の洞峰学園ＣＳのテーマ、計画について」

各校で集まり、コミュニティ・スクールの予算の承認も含めて、今後の活動予定や方針、課題について約 30 分間話し合った。

・保護者だけでなく地域に回覧をし、コミュニティ・スクールを周知していきたい。
・コミュニティ・スクールの広げ方が今後重要。
・地域人材の強みを生かし、人材バンクを構築する。
・東小の学習支援ボランティアを保護者だけでなく地域に広げていきたい。（ホームページ、区会回覧など）

各校の話合いの発表において共通することは、どのようにして地域にコミュニティ・スクールをＰＲし、人材を確保するかという点であることが分かった。

(4)その他
・ 小野川小学校 髙野委員による昨年度のアンケートの結果について
・ 今後の予定について

6 閉会

会　議　録

会議の名称		令和７年度第１回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会		
開催日時		令和７年(2025 年) ５月 27 日（火）開会 16:10　閉会 17:15		
開催場所		つくば市立二の宮小学校　NINO ラボ室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	部会員	木村　敦至（部会長）、髙野　和直（副部会長）、 萩原　路子、宮本　　剛		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課　参事：山口　健次 教育局生涯学習推進課　社会教育主事：村上　和宏 教育局生涯学習推進課　社会教育指導員　福田　綾子 教育局生涯学習推進課　社会教育指導員　入澤　ひろみ		
公開・非公開の別		☑公開　□非公開　□一部公開	傍聴者数	０人
非公開の場合はその理由				
議題		家庭教育学級の方向性について		
会議録署名人			確定年月日	年　　月　　日
会議次第		１　開会 ２　部会長挨拶 ３　協議「家庭教育学級の方向性について」 ４　その他「今後の流れ」 ５　閉会		

＜協議内容＞

○　４月実施の保護者アンケートから学びの柱について検討する。

○　アンケート結果により、子供の成長に伴うかかわり方とメディアリテラシーに関する内容について、部会員４名から活発な意見が出た。

○　子供の年齢に幅があり（６～15 歳）、課題内容に違いがある。親子で聞きたいという要望もあったが、アンケート結果で、平日の夕方からの実施希望が多く、保護者向けに「高度情報化社会を意識した子どもとのかかわり方」の内容で、今後、社会教育指導員と連絡を取り合いながら、講座内容を決定していく。

令和７年度第１回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和７年５月 27 日（火）

１４：３０～

場所：二の宮小学校　NINO ラボ室

次　第

１　開　　会

２　任命書交付

３　授業参観

４　説明事項

５　協　　議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の取組について

(3) 熟議　テーマ「今年度の洞峰学園 CS のテーマ、計画について」

(4) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

６　閉　　会

令和７年度　洞峰学園コミュニティ・スクール協議会
（第１回：５月27日　火曜日）受付名簿

番号	委嘱の区分	氏　名	所属・役職
1	（4）学識経験者	樋口　直宏	筑波大学
2	（3）地域学校協働活動推進員	木村　敦至	元PTA会長
3	(2) 児童・生徒の保護者	内野　隆之	PTA会長
4	（5）各学校長	井橋　憲一	校長
5	(6) 教職員	酒井　洋一	教頭
6	(6) 教職員	浦和　真弓	教頭
7	(6) 教職員	栗本　英理香	教務主任
8	（3）地域学校協働活動推進員	竹内　崇	元PTA会長
9	（4）学識経験者	伊藤　哲司	現PTA会長・大学教授
10	(2) 児童・生徒の保護者	鈴木　宏之	PTA本部役員
11	(2) 児童・生徒の保護者	萩原　路子	二の宮小ｺﾐｭﾆﾃｨﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ
12	（5）各学校長	神林 ふじ子	校長
13	(6) 教職員	宮田　路子	教頭
14	(6) 教職員	片山　大輝	教務主任
15	（3）地域学校協働活動推進員	髙野　和直	元学校評議員
16	（3）地域学校協働活動推進員	東郷 和男	学校支援ボランティア
17	(2) 児童・生徒の保護者	宮本 剛	PTA本部役員
18	（5）各学校長	岡田　浩	校長
19	(6) 教職員	芳賀　千重	教頭
20	(6) 教職員	木村　寛紀	教務主任
21	(2) 児童・生徒の保護者	清水　森人	PTAリーダー
22	(2) 児童・生徒の保護者	鈴木　朱里	PTA会員
23	（3）地域学校協働活動推進員	加藤　千里	元評議員
24	（3）地域学校協働活動推進員	長久保　翠	元PTA会長
25	（5）各学校長	岡野　正人	校長
26	(6) 教職員	坂入　敏江	教頭
27	(6) 教職員	河野　隆行	教務主任
28			
29			
30			

2025　洞峰学園　つくば市立谷田部東中学校　グランドデザイン

【洞峰学園教育目標】
夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して～

＜本県教育目標＞
ひとりひとりの能力を開発
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し、
協力しあう心を育てる

【学校教育目標】
志をもち、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～未来を志向し、「夢の実現」に向けた小中一貫教育を通して～

＜つくば市の目指す学園・学校像＞
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校～

【学校経営の方針】
共に学び、共に磨き、共に鍛え、共に育つ学校づくり
～非認知能力の育成を通して～

学　校　像
○生徒が「夢に」向かって輝く学校
○教師が「やりがい」をもてる学校
○保護者や地域から「信頼」される学校

生　徒　像　**【立志・共創・躍動】**
◎自分の夢や可能性に意欲的に挑む生徒
◎心豊かに誠実に行動し、共に未来を創造できる生徒
◎健康で活力に満ち、いきいきと活動する生徒

教　師　像
○熱意と愛情をもち生徒に寄り添う教師
○指導力と実践力のある教師
○未来を見つめ、改革意欲のある教師

◆保護者・地域の期待
○安全・安心
○学力向上
○落ち着いた学校生活
○進路実現
○地域貢献

◆生徒の願い
○充実した学校生活
○分かる授業
○学びたくなる授業
○心を許せる仲間
○居場所のある学級

組織目標
○未来を志向し、「能動的な学び」の具現化を図る授業づくり
○一人一人が「自己決定」し、夢の実現に挑める集団づくり
○安全で、安心して生活できる居場所づくり

２０２５教育の重点
◎「対話」を核とした教育活動
◎「谷東ログ」を活用した非認知能力の育成
～自分と向き合い、他者とつながり、自分を高める～
自己実現に向けたキャリア教育の推進

【スクール　スローガン】
輝く未来　きらめく明日への挑戦
Ａｃｔｉｖｅ　谷東！
「時を守り　場を清め　礼を正す」

「未来型学力」プロジェクト

【重点目標】
＊「能動的な学び」への具現化を図る授業づくり

◆探究的・協働的な学びの実現に向けた授業づくり
・知的好奇心を高める課題の工夫
・インプット　⇒　協働　⇒アウトプット　⇒振り返り　を重視した PBL 学習の充実
・社会を意識する探究タイム（特設学習）
・地域資源を活用した魅力ある授業
◆ ICT 教育の推進
・思考を広げるための ICT の利活用
◆つくばスタイル科を核とした教科横断型の学習や STEAM 教育の推進
◆「教育支援計画」を活用した「切れ目のない」特別支援教育の充実

【数値目標◎80%以上〇70%以上】
◎進んで授業に取り組み、自分の考えをもつ
◎友達との学び合いを課題解決に生かす
〇授業で「アウトプット」を大切にしている

「豊かさ・しなやかさ」プロジェクト

【重点目標】
＊互いを尊重し合える人間関係の醸成
＊「自己決定」できる集団づくり

◆９年間のつながりを意識した教育活動
・「夢を実現」する系統的なキャリア教育
◆自治能力の育成を目指す生徒会活動
・「R 研修会」を核とした自治的行事
・有志のよる生徒会活動「輝き隊」
・いじめゼロフォーラムの実施
◆柔軟な指導体制による道徳教育
◆共に創り上げる話合い活動の充実
◆外部人材を活用した体験活動
◆５つの行動目標を生かした自主性・自律性の育成
◆「折れない心」の育成と組織を活かした教育相談体制の確立

【数値目標◎80%以上〇70%以上】
◎相手の気持ちを考えて行動できる
〇「夢の実現」に挑もうとしている
〇自分には良いところがあると思う

「たくましさ」プロジェクト

【重点目標】
＊健康で安全な生活を送る体力づくり
＊安全・安心な環境づくり

◆体力向上プログラムの実施
・目的意識を持たせた体育の授業、部活動の充実
◆地域と学校の協働による文化・スポーツ活動（DCAA）
◆外部人材や家庭と連携した健康教育プログラムの充実
◆系統的な自己管理能力の育成
◆危機意識に基づく感染症対策
◆事故の未然防止と組織での迅速な初期対応
◆保護者・地域と連携した防災教育、安全教育、情報モラル教育等の充実

【数値目標◎80%以上△60%以上】
◎自分の健康や安全を考えて行動できる
◎心身ともに成長していると思う
△体力テストＡ＋Ｂ

地域とともにある学校づくり

□地域とともに歩む学校づくり
・地域、保護者との協働体制の構築（CS の導入）
・積極的な情報発信と学校評価の活用
・外部人材を活用した補充学習
□大学・研究機関・企業との連携

RPDCA
学校評価

□教職員の資質・能力の向上
「与えられる研修」⇒「求める研修」へ
・「学び連続性」を保障する学園研修
・業務の効率化を図る校務の DX 化
・教員評価を生かした資質・能力の向上

働　き　方　改　革　の　推　進
【数値目標】超過勤務４５時間／月以内～キャップ・カット・効率化～
・部活動地域連携事業　・末尾１ｈの有給休暇　・日課の工夫

コ　ン　プ　ラ　イ　ア　ン　ス　意　識　の　醸　成
【数値目標】不祥事「ゼロ」～自分たちの職場から不祥事を出さない～
・当事者意識を高める研修　・教員評価の活用　・組織的な相談体制

令和７年度　学校経営の基本構想（グランドデザイン）Ver2.3

つくば市立小野川小学校

本県の教育目標	茨城県学校教育指導方針
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し 協力しあう心を育てる	**第２次 茨城県総合計画（2022～2025年）** **基本理念　『活力があり、県民が日本一幸せな県』** **Ⅲ「新しい人材育成」** **茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す** 政策11次世代を担う「人財」　12魅力ある教育環境 14学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城　15自分らしく輝ける社会

本市が目指す学校像　☆みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園

洞峰学園教育目標　**夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成**

～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して

学校教育目標　自ら学び、心豊かな、たくましい児童の育成

組織目標　一人ひとりを大切にし、自ら行動できる児童を育成する学校づくり

望ましい集団をつくり、自ら考え、自ら行動する教育活動の展開

やりがいと働き方のバランスを大切にする組織

教育大綱に基づいた教育活動　＋α

◎教えから学びへ　「教わる」から「学ぶ」への転換

・児童の活動が主となる授業　児童が考え、話し合い、判断し、活動する授業　実体験を大切にする学び　一斉・一方向教育から個別・双方向の学び

・学ぶ意欲を高める手立て　児童がワクワクとモヤモヤを繰り返す探究的で楽しい授業を準備し展開する　教材、学習課題、資料、学習過程の工夫

◎管理から自己決定へ　「自分で決めるから自分の行動に責任がもてる」

・（自己決定の場の提供）　自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験の重視　特別活動での実践

・管理意識の転換　自己決定は自己責任につながる、その繰り返しが自立につながる　当事者意識を醸成する

◎認知能力偏重から非認知能力の再認識へ　「やる気」「最後までやり抜く気概」「リーダーシップ」「協調性」等

・非認知能力を涵養するための「教師の見取りとフィードバック」「授業、学校行事、特活など」

学校行事や学級活動、児童会活動等の特別活動、学習活動で伸ばす非認知能力　行事を通した自治活動の実践

○（自己存在感の感受）　「自分も一人の人間として大切にされている」

・（共感的な人間関係の育成）　認め合い・励まし合い・支え合える学習集団　個の特性を見取る

・学級経営の充実　楽しいから学校に来る　友達がいるから楽しい　学級が望ましい集団となっている

○心身ともにたくましい健康な児童の育成

・自己管理能力の育成を基盤とした健康、安全教育の実践　教育相談の実施　個の特性の適切な見取り

○教職員の資質向上

・職員の自発的な研修の実践

・信頼される教職員であるために服務規律の確保を図る

○安心、安全な学校づくり（安心・安全な風土の醸成）

・当事者意識を高めるコンプライアンス研修の実施

・計画的な安全点検の実施　人権意識の高揚

コミュニティ・スクールとの連携

◎地域と共にある学校　◎熟議

「子供は地域の担い手」　地域が求める資質・能力を共有する

やりがいと働き方のバランス

◎自発性を大切にする　◎支持的な職場環境

職員のアイディアを生かす職場　お互い様の意識　量的・心的負担の軽減を図る

達成状況の評価　・単元テスト・県学力診断のためのテスト・全国学力学習状況調査・学校評価アンケート
・キャリアパスポートの記述・教育相談・学校生活アンケート・体力テスト　等

令和７年度

洞峰学園つくば市立二の宮小学校グランドデザイン

学園(学校)教育目標：夢や希望を持ち、未来に向かってたくましく生きる児童の育成

組織目標　：笑顔と元気、対話で学ぶ楽しい学校づくり「対話・創造・挑戦・応援」

研究テーマ：自分らしく学び、他者と協働することができる児童の育成

～非認知能力を見取るための行動指標の活用を通して～

重点１　対話を重視した学びの充実

【教えから学びへ】　　学びを創り出す児童

〇問いから始まる探究的な学びの推進

〇対話の質的向上を図るための手立ての工夫

【管理から自己決定へ】　自ら関わり合う児童

〇一人一人が活躍できる場と互いに認め合う機会の確保

〇自己選択・自己決定の場の提供

【非認知能力の再認識へ】㋐こにこ　㋑のびのび　㋒とめあい　みがきあい　㋓りぬく児童

〇外部人材の活用や体験活動の充実

〇失敗が許される雰囲気づくり

重点２　学校・家庭・地域との連携

〇学校だより、学校 HP 等による情報発信の充実

〇保護者、ボランティア、ゲストティーチャー等の活用

〇洞峰学園コミュニティ・スクール協議会での協働体制の構築

重点３　学び続ける教職員集団づくり

〇切磋琢磨し協働する同僚性の構築

〇授業改善に向けた検証と研修の充実

〇パフォーマンス向上のための働き方改革の推進

令和７年度　洞峰学園つくば市立東小学校グランドデザイン

洞峰学園教育目標：夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成

本県教育の目標

○ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
○郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば洞峰学園の目指す児童・生徒像
・自ら考え、自ら学ぶ児童・生徒　・心豊かで社会力のある児童・生徒　・心身ともにたくましく健康な児童・生徒

１～４年	５～７年	８～９年
身近な人と関わりながら、学習習慣を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる児童	地域の人と関わりながら、学んだことを生活に生かすことができる児童・生徒	社会と関わりながら、主体的に学び、行動できる生徒

つくば市目指す学園・学校

○みんなが幸せを実感できる学園・学校（自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校）

校　訓
自ら学び
心ゆたかに
たくましく

９年間の学びの連続性を大切にした教育の実践
・楽しく感動のある教育の実践　・地域に根ざした教育の推進

学校の教育目標　自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

学校の組織目標　１．特別活動で協働して実践する力を育成する学年・学級経営
２．意識改革と業務改善で進める働き方改革・４５時間０（ゼロ）

研究テーマ　生活をよりよくするために協働して実践する力を育成する学級集団の育成
～傾聴する活動の工夫を通して～

自らの学び

【重点目標】教えから学びへ
～個別最適な学びと協働的な学びの実現～

１．主体的・対話的で深い学びの実現
○自ら課題を設定し，他者と協働するなどして課題を解決する学習の充実に向けた指導計画の工夫
○学習意欲を引き出す課題設定の工夫や，考えを広げたり深めたりする発問の工夫
○習得した概念や考え方を活用し，新たな問いを見いだして解決する授業の工夫

２．基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力，判断力，表現力等を育む授業の工夫
○知識・技能の確実な習得を図るための体験的な学習や繰り返し学習の充実
○自分の考えをもち，他者の考えとの共通点や相違点を捉え，考えを深めていく活動の工夫

３．個に応じた多様な指導方法及び指導体制の工夫改善
○ティーム・ティーチングや習熟の程度に応じた学習，少人数指導の充実
○効果的な場面や方法を想定したＧＩＧＡ端末の活用
○専門性を生かした教科担任制

４．どの子も活かし，どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり
【授業改善：教えから学びへ３つのポイント】
(1)自ら学ぶ意欲を高める
～学習課題へのこだわり～
・試行錯誤できる課題の設定
・解決の見通しをもたせる
(2)学び合うために
～対話へのしかけ～
・自分の意見をしっかりもたせる
・教師が対話を生みだすように発問する
・お互いの意見を共有するための指導，手立て
(3)学びを自覚するために（メタ認知）
～振り返りの工夫～
・時間を確保する
・視点を与える
～学びが連続する家庭学習～
・自分が分からない所、できない所を把握し、それを解決できる自律的な学習者を育てる

ゆたかな心

【重点目標】管理から自己決定へ
～自分で考え、判断し、行動するために～

１．みんなで，よりよい学級・学校生活をつくる特別活動の充実
○自分たちで考え、判断し、行動する活動の重視
○発達段階に応じた当番活動と係活動の指導と評価
○いじめ等の未然防止につながる自主的な取組の推進
○異年齢集団の活動の日常化（登下校，清掃活動）

２．どの子も活かし，どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの考えで進める学級経営
【学年・学級経営の充実：管理から自己決定へ２つのポイント】
(1)学級経営で協働して実践する力を育む
～互いの価値観を尊重し，協調しながら解決策をみつける～
・相手の考えを理解するための傾聴の推進
(2)特別活動で協働して実践する力を育む
～対話を通した、多様な自己決定場面の設定～
・対話を通して納得解をつくるプロセスの重視
・係活動の充実　指導と評価の視点：
「進んで」「協力して」「工夫して」「責任をもって」

３．道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
○「考え，議論する道徳」の推進
【指導方法の工夫７つの視点】
(1)書く活動の工夫　(2)教材提示の工夫
(3)話し合い方法の工夫　(4)表現活動の工夫
(5)板書の工夫　(6)説話の工夫
(7)発問の工夫
○感謝と思いやりの心を育てる人権，福祉体験活動の推進

４．時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
○「いばらき キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の推進
○自国文化や異文化の理解を深める国際教育の充実
○ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）時代におけるＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の推進
○家庭との連携による情報モラル教育の推進

たくましさ

【重点目標】実践力へ
～健康で安全な生活を送るために～

１．体力の向上
＜体育の時間に＞
○授業の導入におけるサーキットトレーニングの実施
○体力向上タイムの設定
＜昼休みに＞
○スポーツチャレンジの活用
○自発性を促す運動環境整備
・運動（遊び）の場の設定
・運動（遊び）道具の開発
・運動（遊び）の提供
＜家庭で＞
○動画を活用して
○体つくり運動（実生活に生かす運動）の計画・実践

２．健康教育の充実
○学校栄養職員，養護教諭・担任との連携による食育及び保健指導
○「早寝早起き朝ごはん」運動の推進
（毎月19日からの１週間を推進強化週間）
○飲酒・喫煙・薬物乱用防止・性・がんに関する指導の充実（外部講師の積極的な活用）

３．安全教育の充実
～危険予測能力・危険回避能力の育成～
○安全について児童が自ら考える場を設定
○保健学習や学級指導を充実

安全・安心な学校づくり

１．食物アレルギー対応力の向上
２．ＡＥＤ及び心肺蘇生法の定期的な研修
３．地域との連携による学校防災連絡会議及び学校防災推進事業の実施

教師力・学校力の向上

１．「教員の資質の向上に関する指標」を基にしたキャリアステージに応じた人材育成
２．ＧＩＧＡ端末の活用推進　３．教員評価を活用した人材育成並びに学校活性化
４．教員の業務量の適切な管理（働き方改革）の推進
５．教育公務員としての自覚と服務規律の確保

地域とともにある学校づくり

１．家庭・地域との連携・協働「社会に開かれた教育課程」の推進
○グランドデザインの周知
○研究機関等によるつくば科学出前レクチャーの実施
○学校支援ボランティア
（学習活動支援，環境整備支援，安全確保，その他の活用推進）
○学校広報の充実
・教育活動の事実並びにねらいを明記したホームページによる情報発信の充実
・グランドデザインに基づく教育活動を展開する学校公開
○説明責任と学校・家庭・地域の連携教育による学校づくりを進めるための学校評価の活用

２．保幼小連携協議会の定期開催並びに東幼稚園との交流・連携の推進

３．地域との連携による学校防災連絡会議の開催並びに学校防災推進事業の実施

４．洞峰学園コミュニティ・スクールにおける「地域学校協働活動」の推進